

棧原城跡の高麗門移転に関する パブリックコメント募集結果

1) 目的

パブリックコメント（意見公募手続）は、行政等が意思決定をする際の政策等の案を事前に公表し、その案について広く市民等からのご意見やご指摘、情報等を募集するものであります。

今回、棧原城跡の高麗門移転計画についてパブリックコメントを実施しましたので、その結果を回答とともにお知らせいたします。

2) 実施期間

平成25年6月17日（月）～平成25年7月16日（火）

3) 応募件数

1件

4) ご意見の内容及びそれに対する市の考え方

ご意見の要旨	市の考え方
<p>棧原城跡には歴史文化を表現する遺構が残っていない。</p> <p>自衛隊の理解と協力が得られるなら、対馬駐屯地内の元々あった場所付近に移転を望む。</p> <p>移転後は門を常時開放し、観光の目玉とする。</p>	<p>文化財は原地（元々あった場所）復元が基本であり、もっとも望ましいと考えます。</p> <p>この高麗門が台風により倒壊した際にも、原地復元について旧巖原町と自衛隊が協議しましたが、諸般の事情により現在地（今屋敷）に再建されました。</p> <p>今回のご提案について、自衛隊に内容をお知らせし、協議いたしましたが、</p> <p>①門が有った当時と、現在とでは駐屯地内の施設配置状況が大きく変化しており、既に別の施設が配置されていることから、原地への復元は困難。</p>

②門を移築した場合、駐屯地内の車両移動が困難になる等、業務に支障が出るということが懸念される。

③駐屯地内の他の場所についても、九州防衛局の施設整備計画により今後いろいろと施設が整備される予定であり、既に手狭な状況の駐屯地内に、高麗門を移設するのは難しい状況。

また、文化財という性格から景観上の配慮も必要であろうから、「どの場所にでも」というわけにはいかない。

④門を移築した際、自衛隊施設という特異性から、門を見に来る観光客等を自由に入出入りさせることは難しいと思われる。

といった理由から、自衛隊としては駐屯地内への移転について了解し難いということであり、市としてもやむを得ないと考えます。

なお、ご提案のあった観光資源としての活用につきましては、移転計画地において、地域住民は勿論、観光客等に対馬の歴史を身近に感じていただく文化財として、有効に活用していくよう努めてまいります。